

厚生労働省カリキュラム			全国地域生活支援ネットワークカリキュラム		
科目名		内 容	科目名	講義名	内 容
120	1 強度行動障害のある者へのチーム支援	①強度行動障害支援の原則 地域で強度行動障害のある人を支える チームによる支援の重要性 支援の6つの原則	120	1 強度行動障害のある者へのチーム支援	講 義 「 行動障害のある人の暮らしを支えるために 」 強度行動障害支援の原則 地域で行動障害のある人を支えるために 地域で支えるためのチームアプローチ 支援の6つの原則の確認
120	2 強度行動障害と生活の組み立て	①行動障害のある人の生活と支援の実態 日中活動場面における支援 夕方から朝にかけての支援 外出場面における支援 行動障害のある人の家族の思い	120	2 強度行動障害と生活の組み立て	講 義 「 行動障害のある人の生活と支援 」 行動障害のある人の生活と支援の実態(1) 日中活動(生活介護など)における支援の実態 暮らしの場(家庭やGHや施設など)における支援の実態 外出(行動支援など)における支援の実態 講 義 「 家族の思い 」 行動障害のある人の生活と支援の実態(2) 行動障害のある人の家族の思い
150	1 障害特性の理解とアセスメント	①障害特性とアセスメント 障害特性の理解 障害特性に基づくアセスメント 行動の意味を理解する	150	1 障害特性の理解とアセスメント	演 習 「 適切な支援を組み立てる(予防モデル)～行動のアセスメント～ 」 障害特性とアセスメント(1) 自前症の行動特性シートの説明 (障害特性の理解) 自前症の行動特性シートの記入 (障害特性に基づくアセスメント) 行動特性のもとになる認知特性シートの説明・記入 (行動の意味を理解する) 演 習 「 行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)～記録とアセスメント～ 」 障害特性とアセスメント(2) 水山モデルの作成 (障害特性の理解) (障害特性に基づくアセスメント) 行動の前後関係から考える (行動の意味を理解する)
210	2 環境調整による強度行動障害の支援	①構造化の考え方と方法 強みや好みを活かす視点 構造化の考え方 構造化の方法	210	2 環境調整による強度行動障害の支援	演 習 「 適切な支援を組み立てる(予防モデル)～支援計画シートの作成～ 」 構造化の考え方と方法(1) 本人の特性を生かした支援を構立てる (強みや好みを活かす視点) 必要な配慮(構造化)を考える (構造化の考え方) 構造化を活用した支援計画シートの作成 (構造化の方法) 演 習 「 行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)～支援手順書の作成～ 」 構造化の考え方と方法(2) 本人の特性を生かした支援を構立てる (強みや好みを活かす視点) 必要な配慮(構造化)を考える (構造化の考え方) 構造化のためのストラテジーシートの作成 支援手順書の作成(構造化の方法)
60	3 記録に基づく支援の評価	①記録の収集と分析 行動の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正	60	3 記録に基づく支援の評価	演 習 「 行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)～記録とアセスメント～ 」 記録の収集と分析 行動記録の説明 行動記録の整理と分類 行動記録に基づく再アセスメントと手順書の修正の説明
60	4 危機対応と虐待防止	①危機対応と虐待防止 危機対応の方法 虐待防止と身体拘束	60	4 危機対応と虐待防止	演 習 「 危機対応と虐待防止 」 危機対応と虐待防止 危機対応について(意見交換) 虐待・拘束を生まない取り組み・環境(意見交換)